



第15号 令和5年3月20日（月） 文責 合志市立合志中学校 校長 境 敬一郎

【第76回卒業証書授与式】

3月3日（金）、合志市教育委員会教育委員坂田由美子様ご臨席の下、第76回卒業証書授与式が行われました。そして、卒業生242名が合志中学校を旅立ちました。卒業生はこの3年間、新型コロナウイルス感染症拡大により、数々の学校行事が変更や縮小され、これまでに経験したことのない困難な中学校生活でした。卒業生は様々な活動が制限された中でも、知恵を出し工夫を重ね自ら進んで行動しました。この経験を大きな力に変え、4月から新しい環境の中で精一杯頑張ってくれることと信じています。

1・2年生は、卒業式を迎えるにあたり、校舎内外の清掃や教室内の飾り付けなど、一生懸命準備を進めました。素晴らしい卒業式となりました。



（前略）新型コロナウイルス感染拡大で当たり前のことが当たり前でなくなった三年間、皆さんは我慢したり、発想を変えたりしなければならないことがたくさんありました。それは、捉えようによっては「運が悪かった」と捉えることもできます。しかし、皆さんが見方・考え方を考えることで、例えば、家族や高齢者の方々の感染予防のためだったり、医療従事者の方々の負担軽減であったり、直接ではないにしても何らかの貢献につながったのではないのでしょうか。また、当たり前の日常が実はとても大切だったということに気付くこともできたのではないのでしょうか。最終的には、運がいい人、悪い人というのは存在せず、「自分は、運がいい」と思っている人と、「自分は、運が悪い」と思っている人がいるだけなのではないかと思えます。「自分は運がいい」と思える人は、あらゆることを、ポジティブに考えられる人、うまくいったときは、「おかげさま」と周りの人に感謝できる人、うまくいかなかったときには、「うまくいかないことがわかった。どうしたらうまくいくのだろう。」と次につながる考え方ができる人のことだと思えます。これからの人生、つらいことや心が折れてしまいそうなこともあるでしょう。でもそんなときも、「運が悪い」とあきらめるのではなく、「この出来事は、一体、私に何を学ばせようとしているのだろう。」と考えることは大切なことなのかもしれません。あなたの心・見方・考え方次第で、運のいい人にもなれるし、運の悪い人にもなれるのです。皆さんには、ぜひ幸運な人生を歩んでほしいと願っています。（後略） 【校長式辞より抜粋】

いよいよ、第1学年・第2学年が修了します。そして3週間後には、それぞれ2・3年生に進級することになります。卒業生の頑張りを引き継ぎながら、新入生のお手本となって、新しい合志中学校の歴史を創っていくよう期待しています。

【1年間ありがとうございました】

「一期一会」という言葉があります。生涯にただ一度会うかどうかわからぬほどの縁、出会いを大切にすることを例えたものです。昨年4月、新しい学級や部活動で、仲間と、先輩や後輩と、先生方と多くの出会いがありました。春は別れの季節であるとともに、新たな出会いの季節でもあります。年度を終えるこの時期に「人との出会いを大切に」をもう一度心の中にかみしめて、新たなスタートの準備をしてほしいと思えます。ご家庭での春休み中の見守りをお願いします。

今週末には、令和4年度の修了式を迎えることとなります。保護者、地域の皆様には、様々な面からご支援やご協力をいただき、本当にありがとうございました。